

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年10月 28日

事業所名 望あゆみ野大古曾

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員に対し、スペースを広く取っている	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所の設備はバリアフリーになっている	本人にわかりやすく構造化された環境整備に取り組むだけでなく、今後は本人の情報伝達等を促進していく取り組みも併せて行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		開所1年未満であり、PDまではできているがCAの部分は今後改善していく	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向を聞き取っている	積極的に保護者の意向を把握し、業務改善につなげる
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所後1年未満であり、今回初めて公表する	会報やホームページで積極的に公表していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を受けていない	評価結果を業務改善につなげていく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			積極的に研修の機会を提供する
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			より高度な活動プログラムを提案できるようチーム力の向上を目指す
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		開所後1年未満であり、プログラムの固定化まで至っていない	幅広い活動プログラムを実施できるように工夫する
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動が中心。今後、集団活動も検討していきたい	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成する
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急時以外は、翌日に申し送りをしている	送迎前の時間に振り返りを設ける
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		システムを導入し、どのデバイスからも入力できる	適切な支援の検証・改善につながつよう、効率的に記録する
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には看護師が出席している	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			積極的に各関係機関と連携した支援を行う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係者と連携を図っている	積極的に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行う
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		子どもの主治医や協力医療機関等との連携体制を整えている	積極的に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行う
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有と相互理解を図っている	積極的に情報共有と相互理解を図る
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報共有と相互理解を図っている	積極的に情報共有と相互理解を図る
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修を受けている	積極的に助言や研修を受ける
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	感染症対策を行い交流の機会を設ける
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		(自立支援)協議会には参加していないが、元々、地域の子ども・子育て会議等へは、積極的に参加している	自律支援協議会に参加する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		本人支援のためのプログラムの支援は行っているが、家族支援プログラムの支援はまだ実施していない	家族支援プログラムのに今後取り組む予定
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談されれば必要な助言と支援を行っている	積極的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談をされるような機会を提供する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母を対象とした茶話会を予定していたが、コロナで中止になった	各種当事者支援グループに参加したが、保護者同士の連携支援までは至っていない。感染症対策を行い今後は茶話会等を開催する予定
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった場合は迅速かつ適切に対応している	相談しやすい体制をつくり、相談や申し入れしやすいように積極的に保護者に働きかけていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報等の発行は、していないが、活動概要や行事予定、連絡体制等はその都度、保護者に文章や口頭で知らせている	定期的に会報等を発行する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮はしているが、障がいのある子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をどのようにしていくか模索中	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をする
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在は、新型コロナウイルス蔓延防止の為、実施なし	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図る

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	マニュアルを策定したが、訓練の実施はまだ行っていない	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の対応はしていない。	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づいて食事の対応をする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	厚労省のヒヤリハット事例集はダウンロードしたが、開所1年未満であり、当事業所独自の事例集までは作成できていない	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をする
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束について組織的に決定しているが、保護者に十分に説明を受け、児童発達支援計画には盛り込んでいない	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する